

## 2012年ICAプロジェクトの概要

日本銅センターは、前年に引き続き2012年度も約70万ドルのファンドを受けて7つのプロジェクトを行う計画です。

### ◆銅と健康：抗菌・殺菌

2010年からAntimicrobial Copper Cu+のロゴを付けた抗菌銅製品商品化に努めており、日本でもドアハンドルなどでのCu+ロゴ入りの商品化を進めています。

また、アメリカの病院への導入結果では、院内感染が58%減少したというデータも公表されています。日本でも現在複数の病院建設計画に参画していますが、多くの銅製品が導入されるよう働きかけています。

### ◆Copper Motor Rotor(CMR)の市場化推進

一昨年、ICAと(株)明石合銅が技術提携し、日本でのダイキャスト製CMRの生産が始まりました。

高効率モーターの市場化を推進するため、ダイキャストの金型寿命の延長対策や生産性改善の支援をすると共に、機械加工式銅ローターメーカーとの連携を深め、CMRを使ったモーターの試作評価を推進する計画です。

### ◆高効率エネルギー機器の普及促進

トップランナー制度の対象としてエネルギー消費効率基準が設定されている変圧器やエアコンなどについて、関連業界関係者と協力し、目標基準値の見直しを進め、銅の消費量の増加を図っていきます。

### ◆導体サイズの適正化

本年11月に東京で開催されるIEC/TC20の総会で、環境ステートメントの改定案が承認される予定です。これによって日本発の環境配慮電流表に基づいた導体サイズ規格の国際標準化が大きく前進します。

同時に2条ダブル配線化の実証試験を継続しつつ、現場での諸課題の調査研究を推進し、(社)日本電線工業会のプロジェクトを支援していきます。

### ◆建築用制振ダンパーの開発

2010年から、東北大学・京都大学と連携して超弾性銅合金の特性を活用した制振ダンパーの開発を行い、素材の基本製造工程は確立できました。2012年度は部材として要求特性と評価、使用規模調査などを進め、量産技術の確立を支援していきます。

### ◆OEMプロジェクト

自動車、電機、通信などの主要需要業界での銅に関する技術的ニーズを把握し、ICAの保有する技術を活用して共同開発案件の発掘など、需要開拓を推進するものです。本年度は需要業界の設計・開発部門に最新の銅合金データを提供し、技術開発を促進していきます。

### ◆コミュニケーション(広報)

機関誌、Webマガジンなど発行に加え、引き続き「子供を守る安全・安心プロジェクト」を進めています。従来の活動に加え、Youtube、Facebookなどの新しい媒体を積極的に活用します。

(本ページの下段をご参照ください)

### デジタルコミュニケーション活動の全体像

昨年の11月から、日本銅センターが保有する動画をYouTubeにアップしています。現在は1ヶ月に一本のペースですが、ICAからの動画情報も随時追加する計画です。また、Google Mapに過去の機関紙等で紹介した銅製品の導入例等をマッピングし、地図上のフラッグからホームページにあるバックナンバーのページにリンクできるように計画しています。

その他、Facebookを日常のコミュニケーションツールとして活用できるように準備を進めています。



Google Mapと導入事例等の詳細情報のリンク

